

今月号のトピックス

- ・夏期講習のお知らせ
- ・保護者面談について
- ・受験勉強スタート！
- ・それは説明できるヒットか

夏期講習のお知らせ

・7月27日（月）～8月28日（金）の期間は夏期講習期間となります。

・中1生、中2生は2学期の予習範囲を進め、中3生は入試・北辰テストに向けた勉強を行います。

原則全員参加をお願いいたします。講習未参加の場合、講習内容に関しては補習をすることができません。

・夏期講習中は中学生の通常授業はありません。

・夏期講習中は小学生は特別講座になります。詳しくは後日お配りする案内にてご確認ください。

・**6月19日（金）**以降に生徒さんにお配りした『講習受講科目登録書』を**7月22日(水)まで**にご提出ください。

・あらかじめ欠席が分かっている場合には、早めにご連絡ください。振替の補習を行います。

編集

山口将志
大崎拓己

中村貴宏

お知 らせ せ 塾 内 テ ス ト の

- 今までの学習の定着度を測るため、塾内テストを行います。
- 受講科目に関係なく中1、中2は数学と英語、中3は5教科のテストを行います。
- 学年ごとに日程が違いますので、お気を付けください。

中1 7月14日（火）19：00～21：00
中2 7月7日（火）19：00～21：00
中3 7月8日（水）17：00～22：00

- 習い事等で来られない場合、別日に振替させていただきます。
- コンパス、定規をお持ちください。

お願 い 保 護 者 面 談 の

・7月1日（水）から7月22日（水）までの間で、本部校に通う中学生の保護者様を対象として保護者面談を実施させていただきます。

・ご面談を希望される保護者様は **6月19日（金）**以降に生徒さんにお渡しした『**保護者面談実施について**』を**7月3日（金）**までにご記入の上、教室にご提出ください。

・日程調整後、保護者面談の日時をLINEにてお伝えいたします。

受験勉強スタート!

最後の部活動の大会を終え、引退を迎えた中3生もいるかと思えます。ここから本格的な受験勉強の始まりです。

「毎日塾か...。地獄だな...。」

そんな風に思う人もいるかもしれませんが。今までの受験生達も、この時期には同じような気持ちになっていたかもしれません。

でも、皆さん。周りを見てください。卒業した先輩たちが何人も自習に来ている姿を見かけませんか。また、大学生になった卒業生たちもサポーターとしてたくさん来てくれます。もし先輩たちが受験勉強を「地獄だった」としか感じていないのなら、わざわざその記憶のある塾に戻ってくるでしょうか。きっと先輩たちは、受験勉強を通して大きく成長した実感を持っているのだと思います。

昨年度の受験生たちは受験勉強を通じて大きく学力を伸ばしました。そして、これまでで最も素晴らしい結果を残してくれました。昨年度の受験生たちには、誰かに言われたからではなく、自分で目標を定め、自分の意志で努力を続けた生徒がたくさんいました。その積み重ねが大きな成長と結果につながったのです。今年の受験生たちにはさらに素晴らしい結果を出してくれることを期待しています。

これから先、思うようにいかず、苦しいと覚えることがあるでしょう。頑張ったのに結果が出ず、悔しくなることもあるかもしれません。

もし辛さや不安を一人で抱えきれなくなったときは、遠慮なく周りの人を頼ってください。家族でも、友達でも構いません。もちろん、私たちにもいつでも相談してください。皆さんが前を向いて努力を続けられるよう、私たちは全力でサポートします。

全員が志望校に合格できることを願っています。そして、全員が自分自身を誇りに思えるような受験生活を送ってほしいと願っています。

それは説明できるヒットか

6月の半ばからサッカーワールドカップの予選が始まりました。前のワールドカップでは、日本代表は勝ち進んだ記憶があるので、今大会でも驚くような快進撃を期待しています。

話は変わりますが、今年、野球のほうでも世界大会が行われていました。日本は前の大会で優勝したのですが、今回は準々決勝で敗退。連覇とはなりませんでした。

男子サッカーではなかなか世界一にはなれない日本ですが、野球では何回か世界大会で優勝したことがあります。昔、イチローという選手がいて、大会を通じてなかなかヒットが打てずにいたところ、最後の最後にヒットを打ち、それによって日本が世界一位になった、ということがありました。決定的な場面でしっかりと結果を残すというところが、やはり一流選手たるゆえんだと思います。

伝説的な選手であるイチローですが、彼は自身のことを天才だと思っていない。イチローが残した言葉に「天才は、なぜヒットを打てたか説明できない。ぼくは、きちんと説明できる。だから天才じゃない」というものがあります。天才は理屈抜きで、感覚的にヒットを打つことができますが、感覚的であるがゆえにどうしてヒットが打てるかを説明できません。一方のイチローはどうしてヒットが打てるのかを言葉にすることができます。「なぜヒットを打てるのか、言葉にして説明できる」ということは、ヒットを再現できるということでもあります。同じような状況、同じような相手に直面した際、自分の中でどのように対応するかがしっかり言葉にできていれば、しっかり結果が残せる、ということです。

これは勉強でも同じで、例えば「どうしてこの答えになるのか」「どうしてこの考えになるのか」ということが説明できるようになると、テスト本番で似たような問題と出くわした際に、しっかりと正答できるのだと思います。解答の根拠や理屈を説明するのは、かなり難しいかもしれませんが。しかしそのような言語化を通して理解することで、より学びを深められるのだと思います。

(大崎)